

平成31年2月5日 実践 A 研修記録(エクセルの基礎)

シリアル値: 1900年1月1日00時00分を「1」とし、以下1日増えるごとに「1」ずつ増える。

日付を入力

日付はハイフン(-)やスラッシュ(/)で区切って入力する。西暦や和暦等の表示形式がある。 (資料参照)

「セルの書式設定」→「日付」→「種類」和暦で平成28年12月6日と表示

曜日の表示はユーザー定義の表示形式(日付)から aaa 月、aaaa 月曜日、(aaa)(月)と表示

DATEDIF関数で年齢を求めてみる

生年月日を「開始日」、年齢を求めたい日を「終了日」に指定する。

DATEDIF関数の書式 =DATEDIF(開始日、終了日、単位)

引数の単位 “Y”期間内の満年数 “M”期間内の満月数 “D”期間内の日数

DATEDIF関数で在籍期間を求めてみる

セルを指定して M2を入会日とすれば

年数は =DATEDIF(M2, TODAY(), “Y”)

月数は =DATEDIF(M2, TODAY(), “M”)

年月数は =DATEDIF(M2, TODAY(), “Y”) & “年” & DATEDIF(M2, TODAY(), “Ym”) & “ヶ月”